

不知竟ノ故ヲ以テ遂ニ休業スル者發表シタルトハ
 既教ノ通りナル共ノ後從業員側ニ於テハ之カ對
 策ニ付寄々協議ヲ凝シ居タルカ本月十四日ニ至リ
 現攝津毛織工業所ノ前身タル羊毛紡織會
 社(内容同)ニシテ單ニ攝津毛織ヲ鞭連スヘク
 附加ス。並攝津工業所ニ對シ別紙ノ如キ嘆願書
 ヲ提出シ之カ回答期日ヲ本月十九日迄ト要望セル
 以テ之ニ對スル會社ノ回答如何ニ依リテハ或ハ事
 能ク紛糾セムルニ至ルヤモ難計
 右友申(通)教矣也

別紙

歎死書

至極御生歎工者所ガ水の中ノ年工日少クハ洋生弱
 持家念能あり一る業引延治業秋々徒業員は誠意
 者此の以て致し事一の地妻其致。塵切らず月
 之産めり毎凡好成績や修め君の徒業員と一り業
 欣希之堪くすむ一層如力も以て望みの隆生業
 所を期待致。是の上般に羊先念社創業事
 時ノ好度也。織造系帝界の勸進と多に漸次不
 降了年ヲ逐々に往々其波を抄く方めり吾を逐業
 員對する待遇也左等以下今業會社の徒業員
 りの違ひに下位にあり尚若三年來其難
 其に加ふるに物價の膨張は吾等の生活状態も益